

2005WOC で初めてルーマニアがリレーを組める迄

# WOC へ世界の選手を招致する！

八尋弓枝

平均月収 2 万円弱のルーマニアにとって、2005WOC は哀しい話題だった。彼らの年収に相当する渡航費・参加費・滞在費は過去いずれの WOC に比べても最高額。

だけど、彼らにとって一生のうちで参加できる WOC があるとすれば、それは友人である私がいる 2005WOC しか有り得ないっ！

・・・というルーマニア選手招致まで 1 年間の記録です。

海外遠征の為の支援金を募る機会の多い日本人選手にも、参考になればと思います。

## ジェロヴィタルを切り札に

国家プロジェクトとして開発されたジェロヴィタルという化粧品があることが発覚してから、俄然、ルーマニア選手招致の可能性は高まったような予感があった。(詳しくは分からないが) 1 個数百円のモノが日本で 2 万円近く売れるのであれば、100 個売れば 100 万円以上の儲けになる。それだけあれば、4・5 人の選手招致は十分に可能なのだ！もしくは、日本のジェロヴィタル関連の企業から、広告宣伝費としてスポンサーになってもらうことも、ニーズとして十分ありえる話である。

まず、総代理店である会社に電話を掛けてみた。

私「すみません、御社のジェロヴィタルを 50 万円ほどで広告宣伝できる企画があるのですが・・・」  
すると、  
「とても興味があります。今、新商品リリースで忙しいので、企画書だけ送ってもらえませんか」  
という意外に素直な反応が戻ってきた。

お会いできるのは 2 ヶ月先の 10 月になると言う。であれば、そのときに折角会うならある程度お土産を用意しておきたい・・・という思いから、いくつかのアイデアをまとめてみた。

1) 万博期間中、ルーマニアのフレン

ドシップパートナーである南知多町の協力を得られないだろうか？

2) 総代理店以外のジェロヴィタル販売関連会社にも声を掛け、共同スポンサーになってもらうことはできないだろうか？

1) について、早速南知多町役場へ電話連絡してみた。万博関連の担当は情報企画課の H さんとのこと。以下、H さんとの電話でのやり取り。

私「フレンドシップパートナーであるルーマニアの選手招致を、町の活動の一環としてご協力いただくことはできませんか？」

「いやー今回の件はなんか上から降ってきたような話で町としての予算は全然無いんですよ。お金が掛からない形で協力できるのが一番いいんですが」

私「じゃあ、ルーマニアの特産物を町の展示室のような場所に置かせてもらうとか、町役場にサンプルで置かせてもらうなどは大丈夫ですか？」

「はあ、それ位なら大丈夫です」

これでまずは、南知多町でのジェロヴィタル広報は OK が降りた。

続けて、同町の旅館組合にも電話連絡。南知多町にはいくつもの旅館組合があり、地域毎の管轄のようだ。まず、A 旅館組合に電話。

私「すみません、このたび町役場からの了承もいただきまして、万博でルーマニアに関連の深い御町に、ルーマニアの特産物をサンプル提供させていただきたく計画があるのですが」

「はあ」

私「については、御組合管轄の宿泊施設に無料で、特産物のサンプル提供をさせていただきたくはできないでしょうか」

「他の組合はどうなの？」

私「実はそちら様への電話が初めてで・・・」

どこの旅館組合も頭ごなしに NO だったり、全体の足並みが問題だったりするようだ。一つだけ、しっかりと話ができる旅行組合、X があった。X「いい話なんだけどー、各旅館にこちらから「これを置いて」というのはまるで推奨してるみたいになっちゃうから無料でもダメだね。

可能性があるとしたら、旅館側のほうから「これを置かせて欲しい」という話が上がってくる場合かなあ。いずれにしても全部の旅館組合の足並みが揃わないと・・・」

南知多の近くに私が住んでいるのなら、一件一件廻って説明するのも可能だが、茨城に住んでいる以上は電話での会話以上のことは無理である。旅館の世界にはどうも複雑な仕組みがあるらしく、各旅館にジェロヴィタルのサンプルを置かせてもらい、宣伝活動の一環とする案は早々に立ち消えた。



万博期間中、ルーマニアのフレンドシップ対応町であった南知多町は、自然あふれる観光地

他のジェロヴィタル販売関連企業にも連絡をとって見たが、ジェロヴィタルはあくまでも取扱商品の一部だったりするようで、これも協力は得られそうになかった。したがってアイデア 2) は完全立ち消え・・・。

ということで、ほとんど手ぶらの状態で、10 月 12 日、ジェロヴィタル総代理店とのアポイントを迎えたのである。

## わらしべ長者的人脈紹介

お会いした方は、日本総代理店役員の西岡さんである。一通りの話をしたところ、西岡さんはこう言った。

「確かにジェロヴィタルは日本での宣伝活動が無く、知名度が無いという問題があります。ですから、大変興味深い話です。しかし今タイミングが悪いのは、実はとある会社と商標を巡って裁判中で、場合によっては商品名を変更する可能性があるのです・・・」

そっすか・・・まあ、いいけど。

と西岡さんは名刺ファイルを取り出し、いくつかのコピーをくれた。「この人達だったらなにか協力してくれるかもしれませんよ。がんばって」ありがたく名刺コピーを頂戴し、外に出た後、早速電話連絡をとってみた。すると今日の夕方なら会えると言う。西岡さんの紹介はあったものの、こんなにスムーズに会えるのは驚きだった。

ということで、その日の夕方お会いしたのは日本ルーマニア交流協会幹事長の森さんである。

食事をご馳走になりながらいろいろ話を聞いたところ、いくつかの会社やゴルフ場を所持する彼は、ルーマニアのヘラストラウ公園に桜千本を寄付するなどかなりのお金持ちのようだ。「こんな人がホントにいるんだなー」と私は感心するばかり。ルーマニア支援の件はなんとかするよ、という心強い言葉をいただいたので、その日の私はワクワクと帰宅したのであった。



人脈を繋ぐアンチエイジング化粧品、ジェロヴィタル。現在日本での販売名称はEXTAZ

しばらくたったある日、森さんと電話で話した所、突然に、東京にまた来ないかと言われた。会わせたい人がいるとのこと。「そんなことより、早くお金が欲しい・・・」という愚痴は表に出さず、しぶしぶ再度の上京を行った。2004年の11月だった。

## 雲の上の人たち

お会いした場所は丸の内にあるAIG本社の最上階付近である。会った人は、日本ルーマニア協会の猪谷さんである。日本人で唯一オリンピックのアルペンで銀メダルを獲得した人くらいの知識しかなかった私は、通された建物や部屋のしつらえや、同行してくれた森さんの神妙な態度に、久しぶりの緊張を覚えた。

ルーマニア選手招致についての話をさせてもらった後、猪谷さんはいくつかのアドバイスをしてくれた。協会会長の羽田孜さんにも話をし、ルーマニア新出企業のトップに紹介文を書いてくれると言う。「そんなことより直接お金が欲しい・・・」という下世話

な私の思いに反して、話はどんどん雲の上の人たちになっていく・・・。

私はとにかく、彼らの“絵”を書いてもらうよう、彼らにお任せしてしまうことにした。

ここに詳しく書くことはできませんが、当活動を通じ、西岡さん、森さん、猪谷さんには大変お世話になりました。

## 雲の上の発想

私の尊敬する人物の一人に、元上司のIさんがいる。たびたびの上京の合間に、お会いして食事をする機会があった。

私「カクカクシカジカで、今化粧品関連のスポンサーをあたってると、あとは、ルーマニアの不動産投資を考えてるんですよ」

I「あ、そう。不動産投資というのはどうか。長期に資産が寝かされちゃうのと、儲けが出た場合でも取引相手の関係は一回限りな訳でしょ。なんだかツマラナイんじゃない？」

Iさんの意見では、エンジェルプランのように一定の資金が必要なルーマニアの起業家に投資するのがいいのではないかと言う。たしかにそれは素晴らしいアイデアだけど、一体どうやってそんな起業家をルーマニアで探せばいいの・・・。いつもどおり、彼の雲の上の発想に私はついていけなかったが、不動産投資にネガティブな彼の考え方はとても参考になった。(そして、ここでIさんからアドバイスを受けたことは、後日ルーマニアへ行った私に、大きな影響をもたらすことになる。)

ともかく、ルーマニア選手招致支援に向け、日本でやるべきことは当初の予定以上にやり尽くしている。あとは現地に行くのみである！

## 現地ルーマニアへ！

ここまで読んでいただいた人の中には「どうして普通に、一般人やオリエンティアに援助を募らないんだろう」「不動産投資を考えるorルーマニアへ行くお金があるなら自分一人で援助もできるんじゃない？」という疑問を持つ人もいよう。

労力やお金をかけて、今まで書いてきたような活動をした理由はとても簡単だ。一つには、同じ結果が出るなら面白いことをやりたいから。二つには、どうせなら永続的に継続することをや

りたいから。

単純に、自分のお金を人にあげたり、人からお金をもらうのでは、互いの関係が発展していく可能性は薄い。オリエンティアの範囲だけで援助してもらうのはその際たるもので、言ってみれば“コップの中での活動”である。

人に影響を与え、与えられることでしか発展は無い！そして人間にとって継続的に成長発展していくのは必要不可欠！という思いを胸に、2005年1月、私はルーマニアへ旅立ちました。



ルーマニアへ!!!

カントリースキーをする、というお遊びの目的もあるものの、不動産投資に関して東川さんと決めて決着を付ける/選手招致の資金源となるモノを発見し仕入れる・・・という目標が本当に達成できるのか？不便で不案内なルーマニアでちゃんと動けるのか？三週間の滞在でどこまでのことができるのか？飛行機の中で、私はとても不安な気持ちなのでした・・・。

続きは次号で！

(八尋弓枝 yumieyhiro@yahoo.co.jp)

\*当ドキュメントに登場する人物は実在の人物と異なっているケースがあります。



WOC2005と同時に日本でも大ブレイクしたルーマニアの曲「恋のマイアヒ」。ルーマニア語で歌う歌詞とネコのアニメが大ウケ。「飲ま飲まエイ！」の掛け声は今年の忘年会で盛り上がること間違いない。本来は脈無しに彼女に電話をかけてうまくいかない恋を想う切ない歌。歌詞に出てくる「マイアヒ、マイアハ」に意味はない。